

開港150周年事業推進特別委員会資料
平成20年1月17日
経済観光局

マリインタワー再生事業について

経緯等

- ・昭和33年 横浜開港100周年記念事業の一環として、市民からの発意により建設(昭和36年開業)
(開業以来みなと横浜のシンボル、入場者数は平成3年:106万人、平成18年:27万人)
- ・平成17年 入場者減少などを理由に、運営会社が営業終了を表明、市民から保存・活用について要望
- ・平成18年 開港150周年に向けて再生を決定
民間活力を最大限活用し、横浜市と協働してマリインタワーを再生する民間事業者を公募
- ・平成19年 マリインタワー取得、事業者決定
- ・平成21年 春、リニューアルオープン予定

1 事業概要

- (1) 施設 建物:マリインタワー 1式 (H=106m)
土地:約3,600㎡ (うち、用地取得:約1,800㎡)
- (2) 総事業費 約31億円 (H18~H20)

2 平成18年度事業

- ・ 土地建物の取得
- ・ 基本計画、基本設計実施
- ・ 市民アンケート実施
- ・ 運営事業者公募、優先交渉権者決定

3 平成19年度事業

- ・ 運営事業者決定
- ・ 改修工事
- ・ 事業内容、施設構成等確定

4 平成20年度事業

- ・ 改修工事、電気機械等設備工事
- ・ (別途運営事業者工事)

5 全体スケジュール



| | 平成18年度 1月 3月 | 4月 7月 | 平成19年度 10月 1月 3月 | 20年度 | 21年度 |
|-------|-------------------|-------|-------------------------|-------------|----------------|
| 本市事業 | (1月) マリインタワー取得 | | (6月) 基本協定締結 事業者決定 | | リニューアル オープン |
| | (3月) 優先交渉権者決定 | | | | |
| | 基本設計 | 実施設計 | 工事施工 (耐震,ハリアフリ-,設備等) | | |
| 運営事業者 | | | | 運営事業者 工事 | |

6 平成19年度 施設改修概要

(1)高層部 (展望台 + タワー)

- ・展望台の内外装改修
- ・耐震補強
- ・塗装塗り替え

(2)低層部 (1階～4階)

- ・バリアフリー対応工事
- ・内外装改修

7 運営事業者事業内容検討状況

(1)運営事業者

構成員

- ・リスト株式会社
- ・(株)ゼットン、横浜エフエム放送(株)、(株)ティケイスクエア

(2)基本協定

平成19年6月、優先交渉権者であったリスト株式会社と基本協定締結、事業者決定

(3)事業者調整等

事業内容、施設構成等の具体化に向け、事業提案におけるフロアコンセプトに則り検討を進めています。

「フロアコンセプト」と「具体案」

- ・1階 街と市民とのコミュニケーションゾーン
カフェラウンジ、FMラジオサテライトスタジオ
- ・2階 観光交流ゾーン
情報提供スペース
- ・3階 文化交流ゾーン
文化イベントホール
- ・4階 エンターテイメントゾーン
飲食施設